

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack バージョン 1.2 インストールガイド

メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

△ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2016 - 2018 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

1 はじめに.....	4
Prerequisites.....	4
Support Matrix.....	4
2 OMIVV の設定.....	6
3 Installing or upgrading to OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager v1.2.....	7
OMIVV インスタンスの追加.....	8
OMIVV インスタンスの削除.....	9
4 トラブルシューティング.....	10

はじめに

vRealize Operations Manager 用 Openmanage Management Pack を使用すると、VMware vCenter 用 OpenManage Integration (OMIVV) 4.0 以降で管理する Dell EMC PowerEdge サーバおよびシャーシの正常性状態を監視し、重要なメトリクスを分析できます。

トピック :

- [Prerequisites](#)
- [Support Matrix](#)

Prerequisites

Following are the requirements to install OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager:

- Ensure that you install VMware vRealize Operations Manager (vROPS) version 6.5 or later.
- OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager requires OMIVV 4.0 or higher to be installed.
- Ensure that you have an OMIVV license to manage the Dell EMC hosts. For more information about the OMIVV license, see *OpenManage Integration for VMware vCenter Quick Installation Guide for vSphere Web Client*.
- Ensure that the vROPS configuration is set to Extra-large(6.5 and above), if more than 500 servers are managed.

① NOTE: If the OMIVV is managing a large number of servers (>100) it is recommended to set the Collection Interval (minutes) to 30 at vROPS.

- Ensure that the hosts are part of the connection profile of Dell EMC OMIVV to manage them using Dell EMC management pack.
- Dell EMC recommends using firmware version of iDRAC 2.40.40.40 or later for accurate management and monitoring of the 12th and 13th generation of the PowerEdge servers.
- Dell EMC recommends using firmware version of iDRAC 3.00.00.00 or later for accurate management and monitoring of the 14th generation of the PowerEdge servers.

Support Matrix

Table 1. Support Matrix

vROPS	OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager	OMIVV	PowerEdge Server Generation
6.3, 6.4	1.0	4.0	12,13

vROPS	OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager	OMIVV	PowerEdge Server Generation
6.3	1.1	4.0	12,13
6.4		4.1,4.2	12,13,14
6.5		4.2	12,13,14
6.6		4.2	12,13,14
6.5, 6.6, 6.7	1.2	4.2	12,13,14

OMIVV の設定


vROPS を設定するには、OMIVV で拡張モニタリングのサポートを有効にする必要があります。




拡張モニタリングのサポートを有効にするには、次の手順を実行します。

- 1 OMIVV 管理コンソールを起動するには、ウェブブラウザを起動し、**https:\\<Appliance IP> または <Appliance Hostname>** を入力します。
- 2 パスワードを **ログイン** フィールドに入力します。
- 3 左ペインで、**APPLIANCE MANAGEMENT (アプライアンス管理)** をクリックして、**EXTENDED MONITORING (拡張モニタリング)** セクションまでスクロールダウンします。
- 4 **拡張モニタリング** セクションで、**編集** をクリックし、次に **有効** または **無効** をクリックして拡張モニタリングのサポートを有効または無効にします。拡張モニタリングのサポートはデフォルトで無効に設定されています。
- 5 vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack で SNMP アラートをサポートする場合は、**SNMP トラップモニタリング** が有効になっていることを確認します。これで、ユーザーはサーバやシャーシの稼働状態をリアルタイムでモニタリングできるようになります。

Installing or upgrading to OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager v1.2

To install or upgrade to OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager v1.2, perform the following steps:

- 1 Go to Dell.com/Support/Home.
- 2 In the **Choose from all products** section, click **Software & Security**.
- 3 In the **Software & Security** group box, click **Virtualization Solutions**.
- 4 To download the product, click the required product version.
The **Product Support** page is displayed.
- 5 Download self-extractable .exe file that consists of the Release Notes and OpenManage Management Pack .pak file from the support site.
- 6 Extract the .exe file.
- 7 Open **vRealize Operations Manager** console as, **https://<IP or Hostname or FQDN>**.
- 8 In the left pane of **vRealize Operations Manager**, click **Administration > Solutions**.
- 9 In the **Solutions** tab, click .
The **Add Solution** page is displayed.
- 10 To navigate to the location of the .pak file, click **Browse**.
- 11 Select **OpenManageAdapter** .pak file.
- 12 Click **Upload**.
- 13 To continue, click **Next**.
The **Dell End User License Agreement (EULA)** is displayed.
- 14 Select **To accept the terms of agreement**, and click **Next**.
- 15 Click **Finish**.
The **OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager** is now listed in the **Solutions** tab of **vRealize Operations Manager**.

-  **NOTE:** Solution UI may freeze for some time (about a minute or so) until management pack installation is completed.
-  **NOTE:** If you are upgrading to OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager version 1.2 from 1.0, in the **Solution Details** tab you need to click **Stop Collecting > Start Collecting** for each instance of the adapter.
-  **NOTE:** After installing or upgrading, you must relogin to the OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager to view the Dell Dashboard and Dell customized ICONs.

Topics:

- ・ [OMIVV インスタンスの追加](#)
- ・ [OMIVV インスタンスの削除](#)

OMIVV インスタンスの追加

ホスト名、または FQDN あるいは IP アドレスのいずれかと OMIVV と vROPS の適切なログイン資格情報を入力して、アダプタインスタンスを追加していることを確認します。

アダプタインスタンスを追加するには、次の手順を実行します。

- 1 ブラウザで、**vRealize Operations Manager** ユーザーインターフェイスを起動します。
- 2 管理者としてログインします。
- 3 **管理→ソリューション** をクリックします。
ソリューションの管理画面が表示されます。
- 4 **vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack** を選択して、**設定** をクリックします。
- 5 **ソリューションの管理 — OpenManage vRealize Operations Management Pack** 画面で、次の手順を実行します。
 - a インスタンス設定：
 - 1 **表示名** フィールドで、アダプタの名前を入力します。
 - 2 **説明** フィールドに説明を入力します。
 - b 基本設定：
 - 1 ホスト名、または OMIVV インスタンスの FQDN、あるいは IP アドレスを入力します。
 - 2 ログイン資格情報を追加するには、**+** をクリックします。
 - 3 OMIVV で認証するための適切な管理者（デフォルトのユーザー名）の資格情報を vROPS ユーザーの詳細と共に提供します。
メモ: vROPS には管理者権限が必要です。
 - 4 **OK** をクリックします。
 - 5 入力した設定を検証するには、**テスト接続** をクリックします。

メモ:

拡張モニタリングが有効になっているか確認します。有効でない場合は、**Unable to establish a valid connection to the target system.Extended Monitoring is disabled.Enable Extended Monitoring in OMIVV admin portal (ターゲットシステムへの有効な接続を確立できません。拡張モニタリングは無効です。OMIVV 管理者ポータルで拡張モニタリングを有効にしてください)** というエラーメッセージが表示されます。詳細については、「[OMIVV による設定](#)」を参照してください。

- c 詳細設定：
 - 1 **詳細設定** を展開し、リストから **collector** を選択します。
 - 2 この値を **True** に設定し、自動検出を使用することをお勧めしています。
 - 3 **設定の保存** をクリックします。
 - 4 **閉じる** をクリックします。

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack が OMIVV サーバインスタンスからデータの収集を開始します。

メモ:

OMIVV インスタンスを追加すると、サーバとシャーシ用のデータとアラートが 3 回のデータ収集サイクル後に投入されます。デフォルトではデータ収集サイクルは 5 分ごとに実行されます。

メモ:

物理サーバと ESXi ホスト間に関係を構築し、SNMP アラートをポストするには、vROPS の資格情報が必要です。

① **メモ:**

vROPS の無効な資格情報を入力すると、**Unable to establish a valid connection to the target system.Check that vROPS credentials are correct or not (ターゲットシステムへの有効な接続を確立できません。vROPS 資格情報が正しいか確認してください)** というエラーメッセージが表示されます。

- 6 ホームページ に移動し、vROPS の旧バージョン (バージョン 6.5 以前) の場合は、**ダッシュボード** リスト ドロップダウンメニューから **OpenManage ダッシュボード** を選択します。vROPS 6.6 以降の場合は、**ダッシュボード** に移動すると、**OpenManage ダッシュボード** が表示されます。

OpenManage のダッシュボードが表示されます。

① **メモ:**

OMIVV の IP が変更されている場合は、**ソリューションの管理** ウィザードで IP をアップデートします。

① **メモ:**

既存の OMIVV インスタンスを別の OMIVV と交換する場合は、既存の OMIVV インスタンスを削除して新しい OMIVV インスタンスで設定します。

OMIVV インスタンスの削除

- 1 ブラウザで、**vRealize Operations Manager** ユーザーインターフェイスを開きます。
- 2 管理者としてログインします。
- 3 **管理** → **ソリューション** をクリックします。
ソリューションの管理 画面が表示されます。
- 4 **Management Pack ソリューション** をクリックします。
- 5 **OpenManage vRealize Operations Management Pack** を選択し、**設定** をクリックします。
アダプタインスタンスのリストが表示されます。

① **メモ:** すべてのアラートをクリアしてから、OMIVV アダプタインスタンスを削除してください。

- 6 必要なインスタンスを選択し、**削除** をクリックします。

① **メモ:**

インスタンスの削除後に OMIVV で拡張モニタリングを無効にできます。

① **メモ:** OMIVV で管理されるサーバとシャーシの数によっては、削除に数分かかることがあります。

トラブルシューティング

- vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.0 から 1.2 にアップグレードしてから、HDD リソースのメトリクスが表示されません。
 - vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.0 から 1.2 にアップグレードした後、正しい HDD メトリックを反映するには、アダプタインスタンスの **収集を停止** してから **収集を開始** する必要があります。複数インスタンスの場合は、すべてのアダプタインスタンスで同じタスクを実行する必要があります。
- vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.0 から 1.2 にアップグレードしてから、HDD の履歴データが表示されません。
 - vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.0 から 1.2 にアップグレードすると、HDD の履歴データは使用できなくなります。これは想定どおりの動作であり、最新のアップグレードでは、アダプタが HDD と SSD のデータを個別に提供します。ただし、履歴データは SSD のみで使用できます。時間アダプタが更新されるため、HDD メトリクスが新たに作成されます。
- 新しいアダプタインスタンスを作成して設定した後で、ファームウェアメトリクスを確認できません。
 - ファームウェアカタログが更新されても、ファームウェアメトリクスの収集は行われません。OMIVV でインベントリを再度実行し、次の収集サイクルの後でメトリクスをチェックする必要があります。
- アダプタインスタンスを削除すると、不明な状態のリソースが表示されます。

アダプタの設定されたインスタンスを削除すると、インベントリビューにサーバとシャーシの古いインスタンスが不明な状態で表示されることがあります。そのようなコンポーネントはインベントリエクスプローラのページから削除します。
- アダプタインスタンスを削除し、新しいインスタンスを作成して同じ OMIVV で設定しましたが、今度はウィジェットにデータが設定されません。
 - データを設定するには、ダッシュボードでウィジェットを編集し、変更を加えずに保存します。設定の詳細については、『vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack バージョン 1.2 ユーザーズガイド』を参照してください。
- 稼働状態が「不明」と表示される Dell EMC サーバストレージコントローラがあります。
 - オンボードコントローラ、6 GBps SAS HBA、およびソフトウェア RAID に対しては、リアルタイムモニタリングはサポートされていません。そのため、稼働状態は「不明」と表示されます。